

平成28年度

# 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	報告者: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 代表 桐木 茂雄	報告年月: 2017/3/27
-----------------------------	------------------------------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
①地域の資源を知る・活かすことによる、多様な道東ブランドづくり <知る・活かす>	1) 地域を知る・活かす(自然・景観・産業)	①まちを知る・人を知る (仕組み・組織・ネットワーク)	1	シーニックカフェスタッフミーティング	シーニックカフェP	平成28年4月21日、平成29年1月16日	約15名		地域の「自然」を知り、活かすための活動として、弟子屈空港跡地を利用したそらの森植樹会を開催した。今年度からはこれまでの森づくりのほかに、並木づくりを始めた。  地域の「産業」を知り、活かす活動として、地域食材を活用したシーニックカフェの連携活動のほか、道の駅摩周温泉において、てしかが情報掲示板を制作し、入浴施設や飲食施設、宿泊施設などの地域情報を提供した。  シーニックバイウェイ北海道が包括連携協定を結んでいるトヨタレンタリース札幌様と連携したPR活動を、今年度は新千歳空港ポプラ店で実施した。  「体験活動を知る」として、中標津町と弟子屈町を結ぶ北根室ランチウェイに参加するとともに、迷い道を防ぐためのテープの貼り付けを行った。
			2	てしかが情報掲示板での地域情報の提供	運営委員会	平成28年8月16日～平成29年3月31日	不明	A - 2	
		②自然環境を知る・活かす	3	そらの森 植樹会	景観まちづくり部会	平成28年10月8日	約80名		
		③景勝地や景観ポイントを見つける・活かす	4	トヨタレンタリース札幌 新千歳空港ポプラ店でのPR活動	観光交流部会	平成28年9月13日～平成29年3月	不明		
		④温泉を知る・活かす	2	てしかが情報掲示板での地域情報の提供	運営委員会	平成28年8月16日～平成29年3月31日	不明	A - 2	
		⑤体験活動を知る・活かす (自然体験、産業体験、フットパスなど)	3	そらの森 植樹会	景観まちづくり部会	平成28年10月8日	約80名		
	2) 食を知る・活かす	①地場産品を知る・伝える	6	全国道の駅総会でのPR活動(おすすめ委員会での地場産品のPR)	シーニックカフェP 観光交流部会	平成28年10月12日	不明		地域の「食」を知り、活かすため、10月に開催された全国道の駅総会(弟子屈町)、1月に開催されたふゆトピア・フェア(函館市)において、地域の名産品をPRする活動を行った。また、ルートの特産品のブランド化に向けた検討を行った。
			7	2017ふゆトピア・フェアin函館でのPR活動(おすすめ委員会での地場産品のPR)	シーニックカフェP 観光交流部会	平成29年1月26日～27日	不明		
			8	摩周ウインターフェスタでのPR活動(おすすめ委員会での地場産品のPR)	シーニックカフェP 観光交流部会	平成29年2月11日～12日	不明		
		②新たな地域食材を知る・活かす (道東の新たな食文化づくり)	19	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイのブランド化検討	運営委員会	平成28年4月～平成29年3月	約10名		
	3) 文化や歴史を知る・活かす	①地域の各種文化を知る・活かす		—	—	—	—		地域の「歴史」を知り、活かすため、昭和初期に撮影した阿寒や弟子屈の写真を掲示する「懐かシーニックパネル展」をたんちょう釧路空港と根室中標津空港で開催した。  全国道の駅総会(弟子屈町)において、松浦武四郎の古地図を利用して、地域の紹介を行った。
		②地域の歴史を知る・活かす (開拓の歴史、酪農産業遺産など)	9	懐かシーニックパネル展の開催	景観まちづくり部会	平成28年5月～平成28年12月	不明		
	1) 地域と資源をつなぐ“道(沿道景観)”を整える	①沿道の自然と暮らしの佇まいの景観を守る	10	駐車帯清掃の実施	景観まちづくり部会	平成28年8月27日	約20名		地域の「沿道環境」を整える活動として、沿道花壇への植栽や駐車帯清掃、リレー清掃によって、道路の美化を進めた。  物語のある道をつくる活動として、昭和初期に撮影した阿寒や弟子屈の写真を掲示する「懐かシーニックパネル展」をたんちょう釧路空港と根室中標津空港で開催したほか、一般国道241号に面するそらの森において、植樹による並木の整備を始めた。
			11	リレー清掃への参加	景観まちづくり部会	平成28年6月4日	約300名		
			12	沿道花壇への植栽	景観まちづくり部会	平成28年6月	主催側 約1000名		
		②沿道の景観を整理・改善する	10	駐車帯清掃の実施	景観まちづくり部会	平成28年8月27日	約20名		
			11	リレー清掃への参加	景観まちづくり部会	平成28年6月4日	約300名		
		③物語のある道をつくる	9	懐かシーニックパネル展の開催	景観まちづくり部会	平成28年5月～平成28年12月	不明		
			3	そらの森 植樹会 ～道路沿いの並木道の整備	景観まちづくり部会	平成28年10月8日	約80名		
④地域が担い・育てる景観づくりを進める		10	駐車帯清掃の実施	景観まちづくり部会	平成28年8月27日	約20名			
		12	沿道花壇への植栽	景観まちづくり部会	平成28年6月	主催側 約1000名			

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
②個性・強みとなる地域資源や、魅力ある4エリアをつなぎ・整えることによる、競争力のある地域(ルート)づくり ＜整える・つなぐ＞	2) 観光客を受け入れる環境を整える	①おもてなしの質を整える	1	シーニックカフェスタッフミーティング	シーニックカフェP	平成28年4月21日、平成29年1月16日	約15名		観光客が地域をドライブする際に、美しい景観の場所とともに地域の美味しいカフェを巡れるようなスタンプラリーを実施した。
			13	くしろ・ねむろ ぐるっと！スタンプラリーの実施	シーニックカフェP	平成28年4月29日～平成28年10月31日	一般参加(応募者)1069名	A - 1	シーニックカフェスタッフによるミーティングを通して、カフェにおいて地域の美味しい食材を届けるとともに、地域の最新情報を提供できるような検討を行った。
			2	てしかが情報掲示板での地域情報の提供	運営委員会	平成28年8月16日～平成29年3月31日	不明	A - 2	ルート上に位置する道の駅摩周温泉において、長期滞在者を含めた施設利用者に対して、手作りの情報掲示板において情報の提供を開始した。
		②既存施設の質を整える	2	てしかが情報掲示板での地域情報の提供	運営委員会	平成28年8月16日～平成29年3月31日	不明	A - 2	
	3) 地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する	①地域の魅力(景観)をつないだ感動ドライブコースの提供	14	道東エンジョイマップの作成と配布	情報広報部会 観光交流部会 シーニックカフェP	年3回(夏期、秋期、冬期)	約2万8千部		観光客が地域をドライブする際に、景観の良いルートや場所、美味しいカフェといった地域の魅力をうまく巡れるような情報媒体を作成し、提供した。
		②地域の魅力(体験)をつないだ道東ツーリズムの提供	5	北根室ランチウェイとの連携活動	運営委員会	平成28年6月3日	10名		中標津町と弟子屈町を結ぶ北根室ランチウェイに参加するとともに、迷い道を防ぐためのテープの貼り付けを行った。
	4) 各種情報を伝える・蓄える	①HP・各種広報誌等による情報提供(きめ細かい地元情報の発信)	4	トヨタレンタリース札幌 新千歳空港ボプラ店でのPR活動	観光交流部会	平成28年9月13日～平成29年3月	不明		
			14	道東エンジョイマップの作成と配布	情報広報部会 観光交流部会 シーニックカフェP	年3回(夏期、秋期、冬期)	約2万8千部		
			15	HP、Facebookによる地元情報の発信	情報広報部会	通年			地域を巡る観光客が安全、快適に地域のドライブルートを走行し、景観の良い場所やおいしいカフェを訪れられるように、地域マップやSNSでの情報提供を行った。
			16	FMはなでのシーニックラジオの放送	情報広報部会	毎月第2水曜日11時台			今年度からは中標津町の地域FMである「FMはな」において、シーニックラジオを月に1回放送をはじめた。
		②観光案内施設等による情報提供	14	道東エンジョイマップの作成と配布	情報広報部会 観光交流部会 シーニックカフェP	年3回(夏期、秋期、冬期)	約2万8千部		観光案内施設での情報提供として、ルート上に位置する道の駅摩周温泉において、長期滞在者を含めた施設利用者に対して、手作りの情報掲示板において情報の提供を開始した。
			2	てしかが情報掲示板での地域情報の提供	運営委員会	平成28年8月16日～平成29年3月31日	不明	A - 2	
		③各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	15	HP、Facebookによる地元情報の発信	情報広報部会	通年			
	③地域内資源循環の実現による、持続可能な地域(ルート)づくり ＜創る・整える＞	1) 自然と共に生きる意識を育てる	①地域(子ども達)への環境教育	3	そらの森 植樹会	景観まちづくり部会	平成28年10月8日	約80名	
17				木育教室の開催	景観まちづくり部会	平成28年11月26日	約30名		そらの森の森づくりの一環として、木育活動として、地域の樹木を活用したカスターネットづくりを行った。
10				駐車帯清掃の実施	景観まちづくり部会	平成28年8月27日	約20名		ルートオリジナルグッズとして、タンブラーを販売し、販売額の一部をそらの森の植樹に活用した。
②来訪者(観光客)へのインタープリテーション			18	ルートオリジナルグッズの販売	シーニックカフェP	通年			
2) 自然を保全・活用する仕組みを創る		①自然を守るルールをつくる		—	—	—	—		平成22年度より継続して実施しているそらの森(弟子屈飛行場跡地)での植樹活動を本年も実施した。
		②自然を保護・育成する仕組みをつくる	3	そらの森 植樹会	景観まちづくり部会	平成28年10月8日	約80名		ルートオリジナルグッズとして、タンブラーを販売し、販売額の一部をそらの森の植樹に活用した。
			18	ルートオリジナルグッズの販売	シーニックカフェP	通年			
3) 循環型社会のビジネスモデルを育てる		①コミュニティビジネスを育てる	19	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイのブランド化検討	運営委員会	平成28年4月～平成29年3月	約10名		ルートの特産品のブランド化に向けた調査、検討を行った。
		②地域経済循環の仕組みを創る		—	—	—	—		

# 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

Clear Stream Scenic Byway

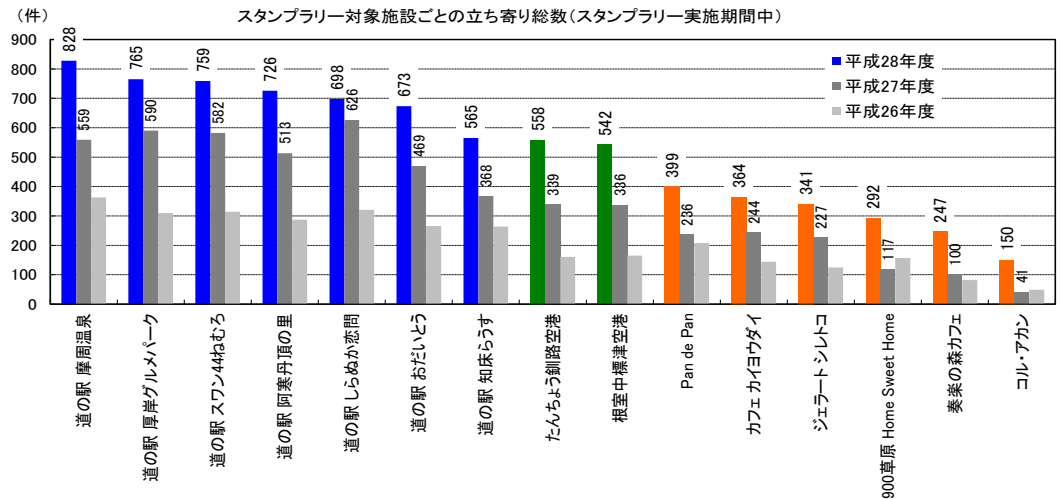
活動名：くしろ・ねむろ ぐるっと！スタンプラリーの実施（観光交流部会）

- 【概要】スタンプラリーを通じて、管内を訪れる観光客、地域住民の皆様に、ドライブ観光を楽しんで頂きながら、道の駅やシーニックカフェを巡っていただき、地域の観光振興に繋げる。
- 【日時】平成28年4月29日～平成28年10月31日
- 【場所】管内のシーニックカフェ6店舗、道の駅7箇所、たんちょう釧路空港、根室中標津空港
- 【主催】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ シーニックカフェプロジェクト
- 【参加人数】不明（スタンプラリーへの応募者1069名）



ぐるっと！スタンプラリーの台紙

	平成28年度	(前年比)	平成27年度
スタンプラリーの応募総数	1,069件	(126%) <b>26%増</b>	851件
対象施設への立ち寄り総数	7,907件	(148%) <b>48%増</b>	5,347件
内「道の駅」への立ち寄り総数	5,014件	(135%) <b>35%増</b>	3,707件
内シーニックカフェへの立ち寄り総数	1,793件	(186%) <b>86%増</b>	965件



# 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

Clear Stream Scenic Byway

活動名：てしかが情報掲示板での地域情報の提供（運営委員会）

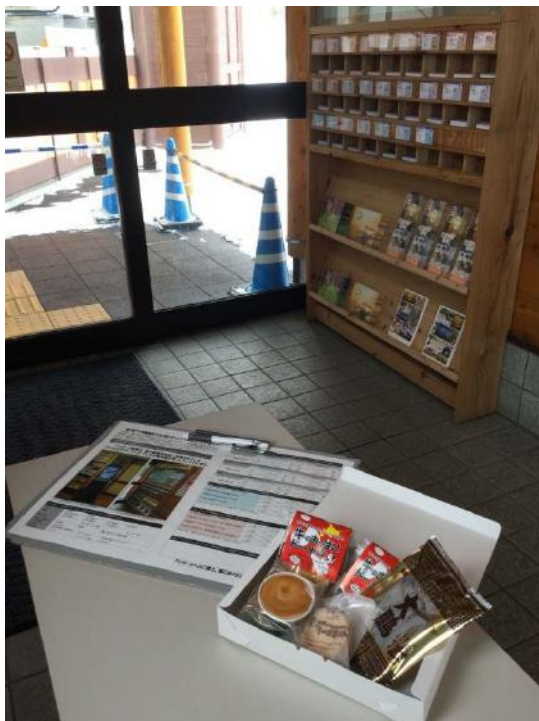
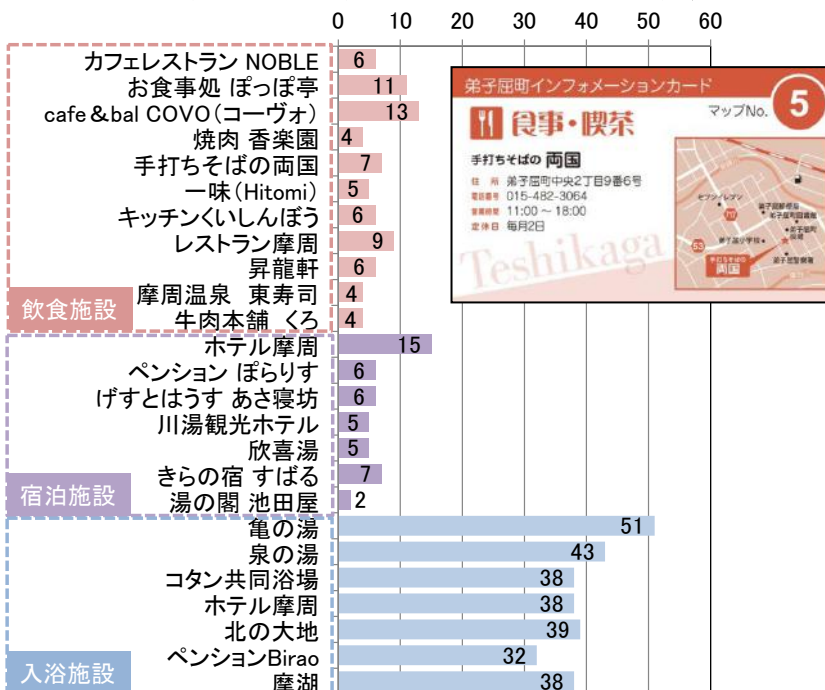
【概要】 夜間を含めて長期滞在者の多い「道の駅摩周温泉」において、地域手作りのアナログ情報板（てしかが情報掲示板）に入浴施設や飲食施設、宿泊施設のインフォメーションカードを置くことによって、地域情報を提供した。さらに、インフォメーションカードの配布枚数による調査、情報板についてのヒアリング調査等を実施し、利用者のニーズを分析した。

【日時】 平成28年8月16日～平成29年3月31日

【場所】 道の駅摩周温泉

【主催】 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 運営委員会

8月16日から8月21日までのピックアップ枚数





4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ		報告者: 釧路開発建設部		報告年月: 2017/3/27			
ルート(エリア)運営活動計画方針	平成28年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No	
①地域の資源を知る・活かすことによる、多様な道東ブランドづくり <知る・活かす>	1) 地域を知る・活かす(自然・景観・産業) 2) 食を知る・活かす 3) 文化や歴史を知る・活かす	そらの森 植樹会	平成28年10月8日	釧路開発建設部	・弟子屈町内で開催された植樹会に、釧路開発建設部から職員が参加。	・次年度以降も着実に取り組んで参りたい。  ・同様のイベントがある際には、積極的に取り組んで参りたい。	
		道東道開通PR活動でのルート紹介等パンフレット配布	通年	釧路開発建設部 釧路市	・道東道開通PRイベント等において、釧路ルートのパネル展示や開通告知パンフレット配布の際にシーニックバイウェイ関連のパンフレットを配布し、情報発信を行った。		
		全国「道の駅」連絡会総会・シンポジウム におけるPR活動の場の提供	平成28年10月12日	釧路開発建設部 弟子屈町	・全国「道の駅」連絡会総会・シンポジウムの弟子屈町開催に伴い、ルートのPR活動の場所を提供した。		
②個性・強みとなる地域資源や、魅力ある4エリアをつなぎ、整えることによる、競争力のある地域(ルート)づくり <整える・つなぐ>	1) 地域と資源をつなぐ“道(沿道景観)”を整える 2) 観光客を受け入れる環境を整える 3) 地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する 4) 各種情報を伝える・蓄える	リレー清掃への参加	平成28年6月4日	釧路開発建設部 弟子屈町	・弟子屈町で開催された摩周湖クリーンウォークに、釧路開発建設部、弟子屈町役場の職員が参加。 ・弟子屈町広報誌にて清掃活動の様子を紹介。	・行政連絡会議構成メンバー間の情報共有を密にするとともに、無理のない範囲で積極的な広報活動に取り組んだ。  ・次年度以降も着実に取り組んで参りたい。	
		沿道花壇への植栽	平成28年6月	釧路開発建設部	・釧路開発建設部では、VSP活動の一環として花苗等を提供した。		
		クリーンウォークへの参加	平成28年8月27日	釧路開発建設部 弟子屈町	・釧路市阿寒町及び弟子屈町にて開催されたクリーンウォークに、釧路開発建設部の職員、弟子屈町役場の職員が参加。		
		シーニックカフェへの観光パンフレットの提供	通年	釧路市、標茶町、弟子屈町、中標津町、別海町、鶴居村	・ルート内各自治体が観光パンフレットを提供することにより、シーニックカフェから魅力的な地域情報を発信することができた。		
		くしろ・ねむろ ぐるっと！スタンプラリーへの協力	平成28年4月29日～ 平成28年10月31日	釧路開発建設部	・スタンプラリー実施にあたり、釧路開発建設部では、参加各「道の駅」との調整や報道発表を行った。		
		道東エンジョイマップの発行・配布	年3回(夏期、秋季、冬期)	釧路開発建設部	・道東エンジョイマップの発行にあたり、中面ヒヤリハットマップの作成を釧路開発建設部が行った。また、道の駅やレンタカー会社への配布を行った。		
		広報(ホームページ)	通年	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイルート運営行政連絡会議	・ルートHPバナーやリンクを掲載し、ルートのPRを行った。		
		広報(ポスターの掲示)	通年	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイルート運営行政連絡会議	・ルートのポスターを各行政機関にて掲示することで、ルートのPRを行った。		
		広報(リーフレット類の庁舎内展示)	通年	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイルート運営行政連絡会議	・道東エンジョイマップやルートマガジンを庁舎内に展示することにより、ルートのPRを行った。		
③地域内資源循環の実現による、持続可能な地域(ルート)づくり <創る・整える>	1) 自然と共に生きる意識を育てる 2) 自然を保全・活用する仕組みを創る 3) 循環型社会のビジネスモデルを育てる	そらの森 植樹会	平成28年10月8日	釧路開発建設部	・弟子屈町内で開催された植樹会に、釧路開発建設部から職員が参加。	・次年度以降も着実に取り組んで参りたい。	